

(株)田村建設

代表取締役
一級建築士
田村 知幸



HP ▶



Instagram ▶



■ 和瓦をのせたL字の平屋の外観



■ 太鼓丸太を用いた階段



■ 併設の剣道場は勾配天井



■ 軒裏の美しい化粧垂木



昭和レトロなたたずまいの家。二間続きの和室は施主の要望で映画「男はつらいよ」の寅さんの家をモチーフに、造作建具やふすま紙にまでこだわった。奥の床の間は床脇に違い棚を設け、一般的な配列とは反対の「逆床」となっている。

Price | 価格の目安

2,000万円～(延床面積35坪の場合)



Area | 施工エリア

群馬県、埼玉県、栃木県(事務所より1時間圏内、その他要相談)

Specialty | 得意分野

- 純和風
- デザイン
- 自然素材
- 職人技
- リフォーム
- 化粧垂木

Company | 工務店情報

伊勢崎市小泉町450-4
0270-63-3333
info@tamura-kensetsu.com
建設業許可群馬県知事(般-1)第12049号
一級建築士事務所 群馬県知事登録第1520号

純和風から和モダンまで 伝統工法を継承する無垢の家

軒裏の美しい化粧垂木や、手ガンナで仕上げた柱を見せる真壁造りにこだわりを持つ田村建設。本格和風建築を軸に置きつつ、木のぬくもりを生かした和モダン住宅も手がける。和室に限らず、リビングに化粧柱を用いた「リビング真壁造り」が好評だ。

設計から施工まで自社完結

同社は設計事務所を構えており、プランニングから材料の手配、加工、現場管理、アフターメンテナンスまでを一貫して自社で賄える。創業から45年。上質な家づくりを継続できるのは、2代目の田村知幸社長が設計・工事監理を担い、

次男の武久専務と三男の直也常務が大工棟梁を務め、3兄弟の抜群のチームワークによるものだ。

木材の見極めと扱う技術

木材の仕入れは一切妥協しない。市場まで足を運び、実際にその目で確認。自社倉庫には青森ヒバ、秋田杉、木曽桧などを大量にストックし、数年間寝かせて自然乾燥させる。それにより強度や粘りが増して、今の主流の人工乾燥材とは大きな違いが現れる。

施工は自社工場にて、無垢材の扱いに習熟した自社大工が、木の癖を見極めながら、墨付け、手刻み、手ガンナなど、昔ながらの技

法で加工する。構造材や化粧材は現場で丹念に組み上げる。今でも床下の根太工法を貫いているのも特徴だ。

優れた木材とそれを生かす熟練の技、時代に即した意匠性が融合した同社の家づくり。ホームページやSNSでも、施工例や最新情報を発信している。



■ 趣味部屋の天井に存在感のある丸太の梁

さあ、家を建てよう！

事前に知っておきたいアレコレ

● ゆとりをもって準備を

「そろそろマイホームを」と考え始めたとき、まずどんな行動を起こしたらいいか。具体的な情報収集の前に、大まかな家づくりの流れを把握しておくことで計画的に動けるので安心だ。

● 一般的な家づくりのステップ



スケジュールを立てる際は、新居への入居を希望する日から逆算して考え、ゆとりをもって進めることが大切だ。依頼先を決めてから完成・入居まで半年～1年をみておくといいだろう。

また、情報収集を行う場合、住宅展示場やモデルハウスを訪ねる前に、ハウスメーカーや地元工務店などのホームページをチェックしたり、雑誌や新聞で予備知識を得ておくとうれしい。実際に建てた知人から話を聞くことも有効。希望の会社をいくつか絞り込むことで、展示場や事務所を効率よく回ることができる。構造見学会などに参加することもお勧めしたい。

